

信州高遠星空観察会②

令和6年2月22日(木)～23日(金)
 【対象】星空観察に興味のある家族・グループ
 【場所】国立信州高遠青少年自然の家

1. 趣旨

各種望遠鏡を使って、高地特有のきれいな星空を観察し、宇宙や自然への興味関心を高める。

2. 事業の概要

(1)期 日 令和6年2月22日(木)～2月23日(金)

(2)参加者 宿泊：6グループ 18名(大人9名、小学生7名、小学生未満2名)

日帰り：4グループ 12名(大人6名、小学生4名、小学生未満2名)

※当初全体で57名の参加予定であったが、宿泊で7名、日帰りで21名が当日キャンセル

(3)日 程

※雪ため、雨天時プログラムを実施

	18	19	20	21	22	23			
2/22 (木)		受付	開会挨拶	指導員による星の話 (プラネタリウムを用いた 星座や宇宙の話)	宿泊棟 移動	入浴	就寝		
	6	7	8	9	10	11			
2/23 (金)		起床 身支度 清掃	朝の つどい	朝食	清掃 荷物整理	退所点 検	3D画像を 使った 月の表面 観察	オリジナル プラネタリウム づくり(クラフト)	閉会 挨拶

3. 企画運営のポイント

- ・月齢的に月の表面が観察しやすく、時期的に木星が観察しやすいため、指導員と事前に打ち合わせ、星だけでなく衛星や惑星の観察をメインに据えた季節にあった活動を計画した。
- ・星空観察の事業では、曇りや雨の場合には星空が観察できないため、参加者が当日キャンセルしてもキャンセル料金が掛からない「日帰り参加」の枠も準備した。
- ・専門的な知識や 300 mm反射望遠鏡を扱う技能をもっている指導員に講師を依頼し、星空の観察を行うことで、肉眼や双眼鏡などでは見ることが難しい星の様子を観察したり、参加者の夜空に関する見識を深めたりすることをねらう。

4. 参加者アンケートより

- ・指導員の方の天体や宇宙に対する想いの強さを感じる事ができて、聞いていてとても楽しいです。天体観測は、天候によるため、今回は雨で残念でしたがまた参加したいと思います。
- ・天気の関係で星空観察はできませんでしたが、子どもはロッジなどの体験ができ、良かったです。また参加して星空観察をしたいと思います。
- ・雨天時のプラネタリウムをもう少し楽しむ内容に考えてほしい。
- ・今回はあいにくの雨でしたが、晴れた時にもう一度参加したいと思います。

5. 事業中の様子

プラネタリウムを使った星空についての説明



クラフト（オリジナルプラネタリウムづくり）

全体写真



6. 成果と課題

(1) アンケート結果 回収9グループ（回収率90%）

事業全体を通して	満足：8グループ	90%
	やや満足：0	0%
	やや不満：1グループ	10%
	不満：0	0%

(2) 成果と課題

○今回の参加者は当施設の事業に「初めて参加した」「2回目の参加」という方がほとんどであった。当施設を知ってもらおうという点で、家族向けの手軽な教育事業は施設に足を運ぶきっかけになると感じることができた。

○2日目のクラフト活動前に、3D画像を用いて月の表面がどのようになっているか見てみる時間を作った。急遽用意した内容のため、簡単な説明のみとなってしまったが、普段は見られない月の裏側の様子まで見ることができ、子どもたちから不思議がる声が漏れ聞こえてきた。望遠鏡を通しての観察はできなかったが、ICT機器を使うことで疑似体験からでも学びに繋がる時間を作ることができた。

- 星空観察がメインの事業のため、天気の悪い際は参加者の満足度が下がりやすい。代替プログラムについて、指導員と事前に打ち合わせるとともに、配布資料なども用意して理解を深めるための工夫をしていきたい。
- 雪の影響で宿泊棟回りから本館入り口の間が凍っており滑りやすくなっていたと参加者からお声をいただいた。注意喚起の表示を本館入り口に設置したり、雪かきを行ったりするなど対策したが、安全管理のため注意を促す声かけをすべきだった。